

保健事業報告

健康まちづくり推進協議会資料

事業	令和元年度まとめ	令和2年度計画
母子保健事業	<p>1. 乳幼児健康診査事業</p> <p>乳児前期健診 対象者 173人 受診者173人 受診率100%</p> <p>乳児後期健診 対象者 185人 受診者183人 受診率98.9%</p> <p>1歳8ヵ月児健診 対象者 172人 受診者171人 受診率99.4%</p> <p>2歳5ヵ月児健診 対象者 185人 受診者182人 受診率98.4%</p> <p>3歳5ヵ月児健診 対象者 217人 受診者215人 受診率99.1%</p> <p>2. 健康相談・健康教育事業</p> <p>子育て相談 参加者 延583人、離乳食教室 参加者 延72組</p> <p>パパママ教室 参加者 延37人、すくすく教室 参加者 延50組</p> <p>にこにこ親子教室 参加者 延849組</p> <p>3. 家庭訪問(延)</p> <p>妊産婦 254人 乳児期 286人 幼児65人</p> <p>4. 予防接種事業</p> <p>BCG 188人、4種混合 694人、2種混合 196人、MR1期 176人、MR2期 196人、ヒブ 643人、日本脳炎Ⅰ期 749人、日本脳炎Ⅱ期 297人、小児肺炎球菌 673人、水痘 359人、子宮頸がん 0人、B型肝炎 513人、風しん抗体検査204人、風しん5期(風しん抗体価が低い人が対象)65人</p> <p>風疹予防接種助成 38人(うち男性2人)</p> <p>5. 産前産後支援</p> <p>母子手帳交付 166件 妊婦面接(転入者含む) 180人</p> <p>マタニティ訪問(希望者のみ) 78人</p> <p>妊婦歯科健診 54件 妊婦健診受診実人数 273人 延4,159件</p> <p>産婦健診受診実人数 194人 延321件</p> <p>産後ケア利用者 1人</p> <p>6. その他</p> <p>不妊治療給付 45件(延)、26人(実(うち男性2人))</p> <p>フッ素塗布 176人</p> <p>養育医療実人員 3人、延6件</p>	<p>1. 産前産後支援</p> <p>妊娠届出時全数保健師等の面接を行う。</p> <p>オンライン(ZOOM)による面談、相談予定</p> <p>妊婦健診、妊婦歯科健診、産婦健康実施。</p> <p>産後ケア事業継続実施。</p> <p>産前産後サポート事業(マタニティ訪問)実施。</p> <p>2. 乳幼児健康診査事業</p> <p>乳児前期健診、乳児後期健診、1歳8ヵ月児健診、2歳5ヵ月児健診、3歳5ヵ月児健診を毎月実施。</p> <p>乳児前期健診、乳児後期健診は、個別健診も実施(6月~8月)。</p> <p>3. 健康相談・健康教育事業</p> <p>子育て相談: 予約制で4保健福祉センターで毎月1回実施。</p> <p>パパママ教室: 2回シリーズを年3回、日曜日に実施。</p> <p>にこにこ親子教室: 参加希望者を募集して実施。</p> <p>月1回、8グループで実施。(3密をさけるため、1グループ定員10組以下とする。)</p> <p>4. 家庭訪問</p> <p>妊産婦から乳幼児までの希望される方必要な方に訪問を実施。</p> <p>赤ちゃん訪問は全数訪問実施。</p> <p>5. 予防接種事業</p> <p>定期個別接種を実施。</p> <p>BCG、4種混合、2種混合、MR1期、MR2期、水痘、ホリオ(不活化)、日本脳炎Ⅰ期Ⅱ期、ヒブ、小児肺炎球菌、子宮頸がん、B型肝炎、風しん5期、ロタのみR2.10月より実施。</p> <p>風疹予防接種費用助成</p> <p>6. その他</p> <p>フッ素塗布、養育医療給付事業、不妊治療給付事業の継続実施。</p>
成人・老人保健事業	<p>1. 市民健診(各種健康診査、がん検診)</p> <p>各がん検診と特定健診等のセット検診実施:28日間(内、休日1日)</p> <p>歯周病予防健診:30歳から70歳の間の5歳刻みの方に実施</p> <p>401人受診(受診率11.4%)</p> <p>後期高齢者歯科健診:満75歳の方に実施(嚥下機能評価も実施)</p> <p>59人受診(受診率14.4%)</p> <p>骨粗しょう症健診:超音波による骨密度測定と栄養指導309人受診</p> <p>2. 健康教育、健康相談</p> <p>CKD(慢性腎臓病)予防教室 2回 48人</p> <p>市民健診結果報告会 35カ所 実1,076人</p> <p>その他出前講座 20回 延316人</p> <p>3. 各種運動教室</p> <p>運動教室 3回 延88人</p> <p>健康プール教室 24回×2コース 延699人</p> <p>4. 介護予防教室</p> <p>はつらつ筋トレ教室 25回×3カ所、24回×1カ所 延1,707人</p> <p>体力測定会 2会場 延106人</p> <p>介護予防サポーター養成講座の開催 実23人</p> <p>介護予防サポーター研修会 2回 延50人</p> <p>元気アップ体操体験会 5回 延73人</p> <p>5. 受動喫煙防止対策・禁煙支援</p> <p>禁煙相談会 2回 3人</p> <p>6. 精神保健事業</p> <p>集団健診受診者に対する睡眠に関する問診の実施 実4,947人</p> <p>睡眠保健指導の実施 延1,268人</p> <p>睡眠講座(明治国際医療大学共催) 基礎編・実践編 延67人</p> <p>市ホームページ等の自己チェックシステム『こころの体温計』</p> <p>アクセス数 延6,003件</p> <p>7. 予防接種</p> <p>高齢者インフルエンザ 6,566人(58.8%)</p> <p>高齢者用肺炎球菌354人(23.2%)</p>	<p>重点目標⇒「ひとりひとりの健康を高めよう」</p> <p>①健康情報発信のためホームページの充実</p> <p>②高齢者のフレイル予防、糖尿病および糖尿病性腎症の予防</p> <p>③高血圧の予防</p> <p>④データから健康課題の分析</p> <p>1. 市民健診</p> <p>個別乳がん検診・個別子宮頸がん検診:5月~12月実施</p> <p>個別特定健診・すこやか健診:5月~11月実施</p> <p>*個別(医療機関での健診) *緊急事態宣言中は実施なし</p> <p>集団検診(肺・胃・大腸がん検診のセット検診):10月、12月</p> <p>集団乳がん検診:12月</p> <p>歯周病予防健診:7月~12月、30~70歳の5歳刻み節目</p> <p>後期高齢者歯科健診:7月~12月、75歳対象</p> <p>骨粗しょう症健診の実施</p> <p>2. 健康教育・健康相談</p> <p>CKD(慢性腎臓病)予防教室</p> <p>糖尿病重症化予防事業</p> <p>3. 運動教室</p> <p>運動教室:2回</p> <p>健康プール教室:24回×2コース</p> <p>はつらつ筋トレ教室(75歳以上対象) 7~2月各地区にて週1回</p> <p>4. 介護予防教室</p> <p>体力測定会</p> <p>介護予防サポーター養成講座の開催</p> <p>介護予防サポーター養成講座修了生(元気アップなんたん)の支援</p> <p>元気アップ体操体験会</p> <p>5. 受動喫煙防止対策・禁煙支援</p> <p>禁煙相談会:保健師と薬剤師による個別相談</p> <p>6. 精神保健事業</p> <p>睡眠講座の実施(基礎編、実践編)</p> <p>市ホームページ等の自己チェックシステム『こころの体温計』</p> <p>7. 予防接種</p> <p>高齢者インフルエンザ</p> <p>高齢者用肺炎球菌</p> <p>8. 高齢者のフレイル予防</p> <p>通いの場でのフレイル予防教室の実施(30カ所予定)</p> <p>低栄養、口腔機能低下、糖尿病重症化予防の個別指導</p> <p>9. 情報発信</p> <p>CATVで元気アップ体操、フレイル予防、感染予防等の放映</p> <p>ホームページでの健康情報の発信</p>

事業	令和元年度まとめ	令和2年度計画
健幸都市プロジェクト関係	1. 健幸アンバサダー養成講座(新規) 8月7日開催 受講者91人中、89人登録 2. 健幸ポイント事業 「なんたん健幸ポイント50」応募総数:561人(H30:377人) 健幸都市応援事業所 7事業所 3. ケーブルテレビ『ピンピン! 健幸のツボ』 明治国際医療大学と協同製作 第3回 アレルギーについて 第4回 インフルエンザ予防について	1. 健幸アンバサダー養成講座 11月18日午後 開催 ※外出自粛による健康二次被害を防ぐため、新型コロナウイルス感染症予防対策を講じて実施予定 2. 健幸ポイント事業「なんたん健幸ポイント50」 健幸都市応援事業所 8事業所 3. ケーブルテレビの健康情報番組『ピンピン! 健幸のツボ』 (明治国際医療大学と協同) 南丹市のホームページで配信
献血事業	安全で持続可能な血液供給体制を構築するための献血思想の普及啓発を継続的に行うとともに、計画的な献血者の確保をはかるための献血推進運動を実施した。 また、献血時に骨髄バンク登録もお願いし、新たに48名の方が登録された。 <令和元年度献血及び骨髄バンク登録者実績> 実施回数: 16日間(18回) 実施場所: 国際交流会館 3回 シミズふないの里 2回 京都中部総合医療センター 2回 明治国際医療大学 2回 京都建築大学校 1回 日吉はとびあ 1回 市役所美山支所 1回 ジャコ株式会社 2回 美山ふるさと祭り会場 1回 京都府園部総合庁舎 3回 献血受付者:861人 献血実施者:768人(H30年度 777人) 骨髄バンク新規登録者:48人(H30年度 31人)	赤十字血液センターの採血車による献血を16日間18回を計画。 このほか、全国的に展開される「愛の血液助け合い運動」や「はたちの献血キャンペーン」等と合わせて、広報紙等を通じて効果的な普及啓発活動を実施予定。 <令和2年度移動献血実施予定> 4月22日 国際交流会館 10月6日 南丹警察署 6月12日 園部総合庁舎 10月7日 京都建築大学校 6月17日 美山支所 11月27日 明治国際医療大学 7月16日 シミズふないの里・市役所八木支所 8月26日 国際交流会館 12月23日 国際交流会館 9月9日 日吉はとびあ 1月27日 ジャコ株式会社 9月16日 ジャコ株式会社 2月2日 園部総合庁舎 9月25日 園部総合庁舎 3月16日 シミズふないの里 京都中部総合医療センター 3月24日 日吉はとびあ ※コロナ禍で、予定通りに献血を実施出来ない施設もある中、新たな施設での受け入れを依頼するなど、出来るだけ多くの方に献血の機会を提供出来るよう努めている。
食育推進事業	◆食育の取り組み 1. 市内食育推進会議を開催(年2回) 2. CATVで食育啓発⇒食育番組「おいしく・たのしく・ごちそうさま」で地域での食育の取組、レシピの啓発や、保育所・小中学校での取組み情報を月1回放送 3. 広報で食育啓発⇒「食は人づくり まちづくり」2カ月に1回掲載(CATVの内容と連動させ紙面からの啓発をおこなった) 4. 「弁当の日」の取組みで地域や各学校と連携して実施(市内4校)(4校児童 延609人が取組み参加) ◆栄養業務 1. 乳幼児健診、子育て相談、離乳食教室、すくすく教室で栄養指導実施(個別指導 延1,400人、集団指導 延275人) 2. 市民健診結果報告会、骨粗しょう症健診時に個別で栄養指導実施。(延510人) 3. 食事診断の実施と今後の課題 ⇒野菜の摂取量1日平均518g(目標1日350g)※目標量の摂取が出来ていた。しかし、過剰摂取している者と基準に満たない者との差が大きい事が分った。また全体的に主菜(蛋白質)の摂り過ぎがみられ、個々に応じた対応が必要である。 ⇒塩分摂取量 男性1日8.0g、女性9.2g (目標量:男性8g、女性7g) 今後も減塩についての取組み、啓発が重要である。 4. 食生活改善推進員育成研修⇒6回109名参加 5. 食育の啓発 朝ごはんレシピ作成(年4回発行:乳幼児健診、健康教育、健幸アンバサダー通信等で啓発:2593人)	◆食育の取り組み 1. 食生活改善推進員育成研修…会員が健幸なまちづくりを目指し、地域での食育活動を実施できるよう育成研修を年5回計画実施する(7月は中止) 2. CATVで食育啓発⇒食育番組「おいしく・たのしく・ごちそうさま」で南丹市食育推進計画の分野を広く推進する。 3. 広報で食育啓発⇒「食は人づくり・まちづくり」2カ月に1回掲載。CATVの内容と連動させて啓発していく。(内容:保育所・小中学校での取組み、地域での食育の取組、健幸都市を意識した取組) 4. 食育ロゴマークの推進 5. 食育月間及び毎月19日は「食育の日」の取組(毎月catv文字放送、食育のぼり啓発) 6 「弁当の日」の取組みで、地域・学校・各団体と連携し実施(1学期は取組なし。今後、学校の意向に寄り添いながら対応) 7. 「昼ごはんレシピ」の発行(年4回) 8. 「免疫力をUPするレシピ」のライン配信(金曜日:11:30) 9. 第1回南丹市食育レシピコンテストの実施(応募締切り:9月30日) ◆栄養業務 1. 特定保健指導・重症化予防における栄養指導の実施 2. 食事診断の実施(バランス、塩分摂取量、野菜摂取量確認) 3. フレイル予防(低栄養予防)のための栄養指導 4. 乳幼児健診、子育て相談、離乳食教室、すくすく教室での栄養指導(個別指導、集団指導、訪問指導) 5. 地域からの依頼による出前講座(サロン等) 6. 食生活改善推進員育成研修(年5回開催予定) 7. 食生活改善推進員との連携調整を随時行う 8. 保育所栄養士、小中学校栄養教諭との連携